



発行所

関西配管工事業協同組合
〒531-0071
大阪市北区中津1-2-19
新清風ビル7階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者

事業部・教育情報部
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日
平成26年8月8日

Vol.60



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

もくじ



● 第18回通常総会開催	2
● 平成26年度事業計画	3
● 組合役員構成	3
● 4団体協議会を開催	4
● 3団体懇談会を開催	5
● 認定職業訓練講座開講	6
● 新組合員	7
● 近畿空調工事団体 名称変更	7
● 理事会議事要旨	7
● 日管連 第9回定期総会開催	8
● 斎藤・前理事長告別式	9
● 青年部 職業技術専門校と空港見学	10
● 玉川義光新理事長に聞く	11

結束して業界の地位向上めざす より高いレベルの技能集団へ

組合の第18回通常総会は5月22日に組合事務局近くの三栄ビル会議室で開催し、新年度の事業計画・事業予算を決定するとともに、各種研修・講習事業を一段と拡充し技能の向上を図っていくことを申し合わせました。

総会は庄司真之副理事長の司会で進行され、はじめに、今年2月に逝去された斎藤昭一前理事長の御靈に黙祷をささげ、哀悼の意を表しました。

次いで、今年3月の理事会で新理事長に選任された玉川義光理事長が挨拶に立ち、「当組合は発足以来、配管業界の技能集団をめざしてきた。皆様のご協力により、多くの1級配管技能士が当組合から輩出し、さらに、もう一段上の登録配管基幹技能者も現在全国で2416人と、当面の目標3000人に近づきつつある。国土交通省も建設技能者の育成に乗り出しており、技能育成面で追い風となっている。より高いレベルの技能集団をめざ



立花副理事長を議長に議案審議



挨拶する玉川理事長

していこう」と呼びかけました。

立花忠夫副理事長を議長に選出して議事に入り、平成25年度事業報告・会計報告を行ったあと、26年度の事業計画・予算を決めました。事業計画案は、総務部と青年部会事業について庄司真之副理事長が活動案を説明、事業部事業については山田誠香副理事長が活動案を説明、教育情報部事業については玉川義光理事長が活動案を説明し、それぞれ原案通り承認可決されました。

今年度も引き続き上部団体・日本配管工事業団体連合会（日管連）と連携して業界の社会的地位の向上を図ることを確認し、登録配管基幹技能者や1級配管技能士の資格取得へ向けた各種研修・講習に力を注ぐこととしました。

また、保険未加入者問題や受注価格の低迷など、ダクト工事業、保温保冷工事業と共に通する課題が数多くあることから、「関連3団体懇談会」で意見・情報を交換していくことを確認。さらに3団体に工事発注元であるサブコン団体・大阪空気調和衛生工業協会が加わった「関連4団体協議会」でも設備工事業全体で取り組むべき課題について共同で解決の糸口を探っていくこととました。

最後に庄司真之副理事長が閉会の辞で「配管業界の地位向上をめざし、一致団結して努力していこう」と訴え、総会を終えました。

◇平成26年度事業計画◇

(26年4月1日～27年3月31日)

【総務部事業計画】

1. 組合員企業の経営に役立つ事業の計画と実施
 - (1) 経営者及び次世代経営者のための講演会・研修会の実施
2. 組合並びに業界の社会的地位と認知度の向上を図る
 - (1) 日管連の企画実施事業に積極的に参加協力する
 - (2) 設備関係の団体との懇談会などを通じて関係業界との意志疎通を図り、建設業界における当組合、ひいては日管連の地位の確立と向上を図る
3. 組合の発展と財政的基盤の維持向上を図る
 - (1) 組合員（正組合員・賛助会員）の拡充を図るための研究をする
 - (2) 組合財政の収支バランスを見直し健全な運営を図る
4. 組合員相互間の交流と相互理解を促進する
 - (1) 組合員相互の親睦を図るため、新年賀詞交歓会、見学会など全組合員対象の行事を企画実施するとともに、組合員・賛助会員合同懇談会を隨時開催し、情報交換を図る
5. 青年経営者・後継者の拡充強化を図るため、組合青年部会の活動事業を支援する

【事業部事業計画】

1. 労働保険事務組合認可に伴う事務処理体制の確立と、一人親方労災保険特別加入の充実を図る
2. ヘルメットなどの斡旋業務の見直しと組合取扱資材の増強を図る
3. 「工事作業日報」の充実活用と「配管工事積算工費資料」の改訂版発行を計画する
4. 賛助会員並びに管工機材団体との懇談会の開催を企画し、管工事業界全体の向上を図る

【教育情報部事業計画】

1. 各種の資格取得支援の体制を維持・充実させ、技術研修会を開催し、高度な技能の伝承に努める
2. 認定職業訓練短期課程配管科1級技能士コースの実施並びに技能検定試験事前実技講習を実施する
3. 「配管技能士」の社会的地位と認知度の向上を図る

ため長期的視野のもと研究に努める

4. 「登録配管基幹技能者」の確保・育成・活用の推進と「基幹技能者講習」の開催協力を図る
5. 機関誌「KAN KANくらぶ」の発行と内容充実を図る
6. 組合員相互間における繁忙情報事業の見直しと工事施工協力の活用方法を研究する

【青年部会活動計画】

1. 日管連全国青年部会との親睦・交流を図る
2. 月1回の例会を開催し、情報交換を図る
3. 工場見学会・勉強会・親睦会の実施
4. 親組合の行事・展示会などへの支援・協力
5. 青年部会への新規加入部会員の募集
6. インターネットを活用し、組合事業活動並びに青年部会の活動をよりPRする

組合役員構成

(平成26年度、敬称略)

理 事 長	玉川 義光	(玉川設備環境)
副理事長	山田 誠香	(株寿工業所)
副理事長	庄司 真之	(株ツカサ)
副理事長	立花 忠夫	(株藤尾設備工業所)
理 事	加藤 猛	(株)ティ・エム・プラント)
理 事	和田 吉成	(株和田設備工業)
理 事	中野 広造	(中野設備工業株)
理 事	池成 信夫	(有)信成設備工業)
理 事	小阪 武司	(小阪設備工業株)
監 事	岡崎 照雄	(岡崎産業株)

部 会

総 労 保 事 務 部・部会長	庄司 真之
事 業 部・部会長	山田 誠香
教育情報部・部会長	玉川 義光



青年部会

部 会 長	朝倉 博昭	(日管連青年部会部会長)
副部会長	中道 孝太郎	

4団体協議会を開催

「標準見積書」の活用と 「人手不足」で意見交換

当組合、近畿空調工事業協同組合（現ダクト組合、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事、会長細見義征氏）と大阪空気調和衛生工業協会（大空衛＝サブコン団体、会長太田隆氏）で構成する〈4団体協議会〉の第15回会合が3月24日に、第16回会合が7月28日に大空衛事務局会議室で開催され、国土交通省が主導し各階層の建設関連団体が取り組んでいる社会保険加入促進問題と、それに関連する標準見積書の活用状況、技能者不足状況について意見・情報交換しました。

保険加入を促進する上で欠かせず、保険料の原資となる法定福利費を明記した標準見積書の活用状況について3月の会合では「保険未加入業者は次第に現場に入れないと状況になりつつあり、この先もっと締め付けが強まろう。役員会でも標準見積書の使用を推進しようという申し合わせを行った」という報告が大空衛側から示されました。

配管、ダクト、保温保冷側からも「すでに、サブコンの本社・支社・支店に標準見積書を4月から

本格的に使用開始するという文書を3団体連名で出させていただいた」と現状が説明されました。

7月の会合では「法定福利費を明示した見積書が増えてきたし、それを明示した見積書を出すよう要請されている」とする意見が大半を占め、徐々に標準見積書の活用が進みつつあることが明らかに



第15回会合

なりました。ただ一方で、「サブコンの中には依然として『見積りには従来から法定福利費は含んでいるはず』などと原則論をいうところがまだ大分ある」とする状況が報告され、意識の切り替えに向けての取り組みが必要との意見で一致しました。

社会保険未加入者問題に関する賃金の側面からは、3月の会合では国土交通省が昨年4月に建設労働者の基準賃金を全国単純平均

で前年度比15%引き上げ、さらに今年2月にも7.1%引き上げた〈新労務単価〉について「新労務単価を民間に波及する努力を中央官庁に要望したい」とする意見や、新労務単価を適用している工事現場が掲げる〈新労務単価現場〉のポスターを「中央官庁だけでなく、地方自治体にも広げて新労務単価への関心を高めてほしい」とする意見が出て、今後機会をとらえて各方面へ要望していくこととしました。

技能者の不足問題については、3月の会合では「ゼネコンなどは鉄筋工、型枠工に視点を偏りすぎて電気設備、給排水、空調関連は後回しの感がある。配管、ダクト、保温保冷の各技能者もきわめて不足していることをアピールしていく」とする意見が出されました。

技能者不足問題で7月の会合では、建設業全体では技術者・技能者不足が一段と進みつつある状況が報告されました。しかし、配管、ダクト、保温保冷の各業界の関西地区状況として「現状の仕事量では技能者の極端な不足には至っていない」とする意見が支配的でした。また、「『建設受注額は高騰する一方』——などの報道をよく見たり聞いたりするが、ゼネコンはともか



第16回会合

く、関西の配管、ダクト、保温保冷の業界の多くはそんなに受注額は上がっていない」とする意見が大勢を占めました。さらに、「技能者の賃金を上げたくても上げられる状況はない」とする厳しい経営環境を示す意見も出されました。

また、「昨今はゼネコン、サブコンを問わず、技術者の引き抜き合戦が激しくなり、これまででは考えられない待遇を提示しているようだ」という現状が報告されました。配管、ダクト、保温保冷の業界からは一様に「現在は自分のところの技能者で一応仕事をこな

しているが、今後、応援を頼まなければならなくなると、その人たちへの労賃が上がり、コストは増える。そのためにも受注額が少しでも上がるよう発注者サイドへ働きかけていきたい」とする意見が出されました。

第35回「3団体懇談会」開く

社保未加入問題と人材確保で意見交換

当組合と近畿空調工事業協同組合（現ダクト組合、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事団体、会長細見義征氏）で構成する「3団体懇談会」は3月10日、組合事務局近くの三栄ビル会議室で第35回会合を開き、保険未加入問題の現状や人材確保の方策などについて意見・情報交換しました。

社会保険未加入対策については、昨年12月に東京で開催された「3団体全国会議」での決議・宣言文を踏まえ、今年2月の関西「3団体懇談会」代表者会合で「サブコン各社へのお願い文書」と題する文書について意見を交わしました。協議の結果、同文書を3団体の連名で3月中にサブコン各社に送付することとしました。

その添付資料として、3業種の厳しい経営情勢を訴える文書「近畿地区3団体のお願い」、サブコン団体・日本空調衛生工事業協会（日空衛）会長名の各会員宛文書「法定福利費の内訳明示」と「適切な賃金水準の確保について」、「国土交通省参考資料」（朝日新聞記事コピー）を同封することと



しました。

技能労働者不足に伴う人材確保は当業界だけでなく、建設業全体の大きな課題となっています。これについても活発に意見・情報交換しました。この中で、高校生の入職について工業高卒と普通高卒の落差が大きいとの意見がありました。それによると、工業高卒はある程度長い間勤務する人が多いが、普通高卒は数か月で退職するケースが多いという実情が報告されました。

若い人材を確保・育成していくための方策として、①インター

シップの実習を受け入れて行う②配管技能コンテストが実施（大空衛主催）されているので、これをより活用する③高校への「出前授業」などで工業高校の生徒に対して設備業のPRをより一層強める④ダクト作業についてもコンテスト的なものを実施し、ダクト業の魅力をアピールする——などの案が出ました。人材確保については3業種の今後を大きく左右する最大の課題と位置づけ、さまざまな観点で知恵を出し合って引き続き3団体懇談会で協議していくことを申し合わせました。

平成26年度認定職業訓練講座

1級配管技能士めざす

4~9月の日曜延べ15日間受講



組合の教育情報部会（部会長・玉川義光理事長）が担当している認定職業訓練講座（配管科・1級技能士コース）が4月から9月まで尼崎市武庫豊町の兵庫職業能力開発促進センター（ポリテクセンター兵庫）で行われています。受講生は1級配管技能士の資格取得をめざして熱心にカリキュラムを取り組んでいます。

認定訓練講座は大阪府の認定を受けた短期課程職業訓練です。この認定訓練講座を修了するには全訓練時間の80%以上の出席と最終日の修了試験に合格しなければなりません。修了者には、技能検定国家試験（建築配管作業）における学科試験免除の特典が与えられます。講座は、ポリテクセンター兵庫で4月13日にスタート、9月7日までの日曜日、延べ15日間・120時間（25教科）にわたって続けられます。

今年度は15人の講習生が13人の講師から学んでいます。すでにこ

れまで流体の基礎理論・熱力学の基礎や材料各論、施工法、建築配管、製図などの教科講義が行われ、これから施工法の一部、関係法規、安全衛生などの教科が続きます。最終日に全教科の総まとめ（監督・玉川義光教育情報部会長）と修了試験が行われます。

受講者の皆さんには酷暑の中、休日返上で研修に取り組んでいます。受講者の周囲の方々のご理解をたまわりますようお願い申し上げますとともに、これからも認定

職業訓練講座の積極的な活用をお願いします。

【講師の先生】（50音順、敬称略）

- ◇大原 明◇鬼武孝一
- ◇新井正信◇金野義弘
- ◇柴田健治◇鈴木香次
- ◇澄川史朗◇瀧口佳典
- ◇土居世輝雄◇直江 健
- ◇原本昌興◇宮本泰仁
- ◇森 良則

【受講者の皆様】

- （社名50音順、敬称略）
- ◇上田設備工業 = 上田隆之
- ◇浦設備工業所 = 下原佑太
- ◇オオシマ設備 = 松井秀暢、西本義人、大島正美
- ◇紀美設備 = 岡 聰
- ◇株式会社津管工 = 藤原大貴
- ◇玉川設備環境 = 平田光雄、岡田忠昭、玉川慎
- ◇株式会社カサ = 前田大輝、佐藤淳
- ◇出口興産株式会社 = 出口尊朗
- ◇中道設備工業 = 米田浩淑
- ◇山本設備工業 = 水谷雄太



【新・組合員】

(有)大和設備

代表者 植田 伸二
大阪市鶴見区今津中4-4-10
Tel.06-6963-1460
Fax.06-4980-7345

玉川設備環境

代表者 玉川 義光
東大阪市横小路町6-4-30
Tel.072-981-6668
Fax.072-981-6620

森内工業

代表者 森内 貢
大阪市旭区高殿3-1-9-802
Tel.06-6951-5107
Fax.06-6953-7736

「近畿空調工事業協組」 名称変更

当組合と関連の深い近畿空調工事業協同組合（理事長増田岳史氏）はこのほど、団体名を「近畿ダクト工事業協同組合」に変更しました。同協組では、建設業法での業種認定において「ダクト工事業」創設をめざしています。このため、団体名称も「空調工事」から「ダクト工事」に変更し、先ごろ省庁の認可を得て団体名を改称しました。なお、事務局所在地（関西配管組合が入居する新清風ビル）や電話・ファクシミリ番号は従来どおりです。

会出席報告

- ⑤平成26年度1級配管技能検定受検対策実技講習の実施日程と講習会場の件
- ⑥平成27年新年賀詞交歓会の開催日時・場所の検討の件
- ⑦日管連役員・代議員の任期満了に伴う改選にあたり、当組合からの役員及び代議員の選出の件
- ⑧平成26年度組合行事計画予定表の作成の件
- ⑨平成26年度組合事業計画書（案）並びに収支予算書（案）の策定の件

【26年5月】(1回目)

- ①新規組合員の組合加入申し込み 諸否の件
- ②平成25年度組合事業報告並びに決算報告承認の件
- ③平成26年度・第18回通常総会 上程議案並びに総会議事運営方法の件
- ④6月定期理事会の休会の件および大阪府立北大阪高等職業技術専門校からの案内通知の件

【26年5月】(2回目)

- ①日管連理事会出席報告
- ②通常総会の運営順序についての打ち合わせ
- ③厚生労働省が推進する「ものづくりマイスター」認定申請の件

【26年7月】

- ①組合決算関係書類の提出および登記事項完了報告並びに組合定款一部変更認可報告・労働保険事務処理規約一部改正届出報告
- ②大空衛主催・第6回配管技能コンテスト参加者の当組合から推薦報告
- ③平成26年度登録配管基幹技能者講習開催日程・会場の決定と近畿地区会場への講師派遣の協力について

- ④北海道配管事業協同組合法人化30周年記念祝賀会出席報告
- ⑤賛助会員からの組合脱退申し出の件
- ⑥平成25年度脱退組合員に対する出資金払い戻しの件
- ⑦その他（8月定期理事会休会の件）

理事会 議事要旨

【26年1月】

- ①第14回技術研修会終了報告
- ②平成25年度1級配管技能検定受検対策実技講習終了報告
- ③平成25年度「登録配管基幹技能者講習」近畿地区会場への講師派遣協力の件
- ④第35回3団体懇談会開催に伴う当番幹事団体として当組合からの提案事項検討の件
- ⑤日管連平成26年度定時総会開催に伴う当組合出席者の件
- ⑥消費税率引き上げに伴う労災保険一人親方組合事務手数料改定検討の件について
- ⑦消費税率引き上げに伴う労働保険事務組合事務処理規約事務手数料改定検討の件
- ⑧新年賀詞交歓会の運営順序打合わせ
- ⑨その他（2月定期理事会の休会の件）

【26年3月】

- ①斎藤理事長死去に伴う代表理事（理事長）選任の件
- ②副理事長選任の件
- ③日管連役員・代議員の当組合からの選出枠欠員に伴う補充選出の件
- ④組合員の代表者変更報告

⑤平成26年新年賀詞交歓会終了報告

- ⑥平成26年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申し込み応募状況報告
- ⑦日管連理事会出席報告
- ⑧賛助会員からの組合脱退申し出の件
- ⑨新規組合員の組合加入申し込み 諸否の件
- ⑩平成26年度・第18回通常総会開催日程と開催場所・方法検討の件
- ⑪組合青年部の大阪府中小企業青年中央会に新規加入申し込みの検討の件
- ⑫組合定款一部変更の検討の件
- ⑬組合の部会組織の変更検討の件
- ⑭平成26年度組合事業計画並びに予算編成の基本方針検討の件

【26年4月】

- ①平成25年度後期技能検定試験・1級配管（建築配管作業）受検結果報告
- ②平成26年度認定職業訓練配管科1級技能士コース受講申込者報告並びにカリキュラム・担当講師の決定報告と開講について
- ③第35回3団体懇談会出席報告
- ④大空衛主催の第15回4団体協議

日管連第9回定時総会開催

実践スローガン

「若者が夢持てる職業環境創りをめざす日管連」

日本配管工事業団体連合会（日管連）は7月18日、第9回定時総会を広島市の「エンジェルパルテ」で開催し、登録配管基幹技能者の活用促進や社会保険加入対策、青年部会の活動支援など多彩な事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選で関東配管工事業協同組合所属の當木仁氏（當木工事社長）を新会長に選任しました。

今回の総会は中国配管工事業協同組合（理事長中上功氏）が担当組合として開催。北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州の各組合代表者らに地元中国組合の役員・組合員・賛助会員が加わり、さらに関連団体やサブコン代表者などの来賓を合わせ約100人が参集しました。相馬辰夫会長が挨拶したあと、同氏を議長に議事に入り、平成25年度の事業・決算報告に続き、26年度の事業計画・予算を審議決定しました。

今年度の事業については、登録配管基幹技能者の育成と活用促進



を中心に、国土交通省と各建設関連団体が取り組んでいる社会保険加入促進計画の実施、空調（ダクト）工事、保温保冷工事の関連団体との情報・意見交換、青年部組織への支援などに取り組んでいくこととしました。

任期満了に伴う役員改選では、當木氏を新会長に選任したほか、各地区団体代表者を副会長に選任しました。当関西組合では、玉川義光氏（組合理事長）が日管連副会長に就きました。また、山田誠

香氏（同副理事長）は理事留任、庄司真之氏（同副理事長）は代議員から今回理事に新任、池成信夫氏（同理事）は代議員留任、小阪武司氏（同理事）は代議員新任となりました。最後に日管連青年部会の朝倉博昭部会長（関西組合）が今年度の事業計画を説明しました。

引き続き、今年度の実践スローガンとして「若者が夢持てる職業環境創りをめざす日管連」が決議されました。



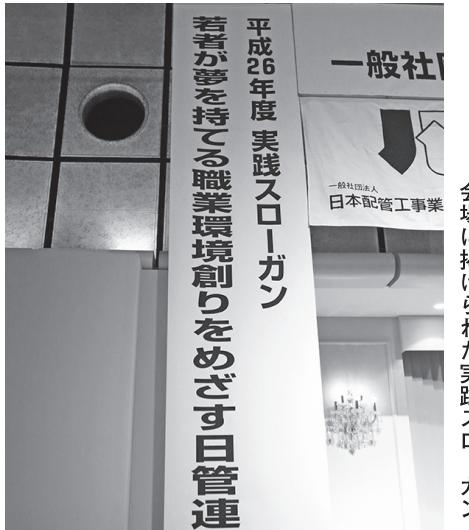
就任挨拶する當木新会長



議案説明する玉川・日管連副会長



青年部会の事業計画を説明する朝倉・日管連青年部会長



会場に掲げられた実践スローガン



関西組合の出席者



懇親会の様子

に実行する」と強調しました。

来賓からは、国土交通省中国地方整備局の田中徹・建政部長が「建設業なくして社会は成り立たない。技術・技能の担い手が大幅に不足しているが、発注者・受注者が手を携えて若年労働者の入職に力を注いでほしい」と激励しました。また、建設産業専門団体中国地区連合会の谷勝美会長は「今回採択した実践スローガンをめざしてほしい。スピード感を持って一緒に取り組もう」と挨拶しました。

しめやかに故斎藤氏(前理事長)告別式

多数参列して故人偲ぶ

当組合の理事長を長年務められた斎藤昭一氏（三進会長・前社長）が現職のまま2月8日急逝され、葬儀・告別式が当組合関係者・業界関係者が多数参列して2月12日に同社・斎藤家の合同葬により大阪市東住吉区の仏光殿臨南寺会館紫雲殿でしめやかに営まれました。満72歳でした。喪主は、同社社長で長男竜久氏。

故斎藤昭一氏は当組合の前身・関西配管工業協会（平成4年設

立）から役員を務め、協同組合として法人化（同8年）と同時に理事に就任、翌年副理事長、平成17年から理事長として組合・業界をリードされました。

この間、当組合を大阪労働局から「労働保険事務組合」として認可（同20年）にこぎつける陣頭指揮を執られました。また、同17年、配管基幹技能者制度（現登録配管基幹技能者制度）に基づく講習会を関西地区で初めて実施した



故 斎藤昭一氏

さいには講師を務められたほか、以後数回にわたり講師として技能者の育成に注力されました。恰幅のいい体型、張りのある声と気取らない語り口がトレードマークで、親分肌な人柄は多くの人から慕われました。改めてご冥福をお祈りいたします。

北大阪高等職業技術専門校を視察

組合青年部会（部会長朝倉博昭氏）は6月17日、昨年4月に開校した大阪府立北大阪高等職業技術専門校（大阪府枚方市）の視察研修会を行いました。

同校が立地する津田サイエンスヒルズ（関西文化学術研究都市）は、研究開発型企業21社が集積した大阪府内有数の先端産業拠点です。恵まれた立地環境を最大限に



活かし、地域の企業、大学と連携し、ものづくりや建築の分野において最先端の訓練を行い企業のニーズに対応した技術技能者を育成しています。

視察参加者は六辻省吾副校長の案内のもと、機械系・制御系・建築系・ワーク

トレーニング科の授業現場を参観。CAD製図実習や生徒たちの作品などを見て回り、その後求人登録の手続きや求人情報の概要など担当者から説明を受けました。

六辻副校長は「指導者は生徒にアドバイスを行い、上手くいったらきちんと褒めてあげることが大事」と生徒との信頼関係の醸成に努めていることを話されました。

伊丹空港で航空機整備場を見学

組合青年部会は7月7日、大阪府中小企業青年中央会の見学会に参加し、大阪国際空港（伊丹空港）の機体整備場などを見学しました。

見学会は同青年中央会の主催行事として実施されたもので、伊丹空港のANA機体工場などを見て

回りました。ボーイング社の技術の枠を集めたといわれる旅客機のコクピット内部の最新システムなどをスライドで説明を受け、ANAスカイビルサービス関西支店・大平哲司氏の案内により、航空機の離着陸風景を見たあと、格納庫（ドック整備場）で機体の定期点

検を見学しました。

現場では、定められた項目に従い機体をくまなく点検する様子や航空機の心臓にあたるエンジン部品を一つひとつ分解し、点検・整備を行うエンジン整備などを間近で観察しました。普段見ることのできないドック整備場の状況と整備士たちの仕事ぶりを見学しました。



玉川義光新理事長に聞く

当組合は、斎藤昭一理事長の逝去（2月8日）に伴い3月6日開いた理事会で玉川義光氏（副理事長）を新理事長に選任しました。

玉川氏は平成9年5月、理事に就任、13年5月から副理事長。この間、教育情報部会長として技能の伝承と技能者の育成に力を注いでいます。新理事長に抱負などを聞きました。



——現状、先行きとも厳しいといわれる配管工事業界のリーダーに立たれた、率直な感想は。

「今回理事長を引き受けましたが、理事長の器ではないことは十分にわかっています。しかし、平成4年より関わってきた組合の活動を今さら逃げるわけにはいきませんでした。リーダーには求心力、指導力、決断力、管理力などが必要なのですが、私にはそれがあるとは思っていません。ただ、ひたすら組合の発展に向けて努力は惜しまないつもりです。技能伝承をめざした教育、訓練に力を入れ、〈技能を売る集団〉として組合の目的に向けて前進する使命感、責任感を持って臨みたいと思っています」

——今、業界が直面している課題は何ですか。

「いろいろありますが、まず、技能労働者不足です。人材の育成と確保が最重要課題であり、それには、社会保険未加入対策の推進が欠かせず、これがいつまでに実行できるかがカギとなっています。さらに、過当競争、ダンピング

グで下落した労務単価の値戻しも重要となっています」

——それに対し、業界として、また協同組合としてどんな取り組みを考えられますか。

「人材育成・確保については、組合事業の〈認定職業訓練配管科1級技能士コース〉に員外からの参加も含め、できるだけ多くの申し込み者を集めて技能者を増やしたい。また一方で、布施工科高校をはじめ、工業高校や高等技術専門校への協力として配管マイスターの派遣、インターンシップなどで協力していきます。社会保険加入対策としては、法定福利費の内容明示された〈標準見積書〉の活用を積極的に推し進めることで加入促進に努力したい。平成28年までに組合員企業・下請企業の全員加入をめざします。労務単価の値戻しについては、国土交通省が決めた労務単価の昨年の15.1%、さらに今年の7.1%、それぞれ上乗せされた技能者の賃金水準確保とともに、適正価格への値戻しを関係先にアピールしていきます」

——協同組合が抱える課題は。

「組合員の減少に歯止めをかけることが緊急の課題です。平成4年の協会設立時の構成員107社が



今や約30社にまで減少しています。このままでは組合の存続さえ危惧されます」

——それへどう対応しますか。

「一人親方保険加入者、登録配管基幹技能者や若い世代の経営者が育ち建設業許可をとり、組合員に加入できるような力をつけてもらうため、最大限のバックアップをしていきたいと思っています」

——業界の近未来をどうみていますか。

「20年間にわたる建設不況で落ちるところまで落ち込んだ業界であり、これ以上落ちることはなかろうと思っています。国土交通省、厚生労働省も重い腰を上げ、いろいろな対策に乗り出しています。業界に追い風が吹いている今が業界を改善する最適の時期だと思っています」

——座右の銘は。

「〈やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ〉という山本五十六元帥の言葉を信条としてきました。これからもこの言葉を念頭に進んでいきます」

〈玉川設備環境代表、昭和23年3月26日生まれ〉

事業主の皆さん、 労働保険に入つて いますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

- ◇労災保険制度については
労働基準監督署へ
- ◇雇用保険制度については
ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

AS 株式会社 アウス

スーパートラップ付目皿 ワンタッチ掃兼金具
(スーパー トラップ付き)

簡単に施工でき封水を確保
トラップ部が取り外し可能、メンテナンスも簡単

D-STD-PU 50・65・75・100mm

D-3CO-STD-PU 50・65・75・100mm

50mm 100mm

50mm

蓋は①ドライバー1本で
ワンタッチ取り外し、
装着は軽く押すだけ

総発売元
SHO-A 株式会社 昭栄

イクイップメントのサポート商社

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-3-1
☎(06)6262-5947 FAX(06)6262-5947

本店営業部 〒577-0815 東大阪市金物町6-10
☎(06)6725-9311 FAX(06)6725-9333

東京☎(042)487-6811 北関東☎(048)458-1234
大阪☎(06)6531-9601 金沢☎(076)291-9011
中國☎(086)246-2611 姫路☎(079)284-4101
四国☎(087)864-7351 松江☎(0852)26-1124
福岡☎(092)928-5001 北九州☎(093)951-7021
千葉☎(043)258-3811 大分☎(097)555-9840
山梨☎(055)279-5711 鹿児島☎(0995)62-3301

印管継手
給水・給湯・冷温水に!! 2つのSUS管用継手登場!

新製品!

ワンタッチ式
SUSDAKE(サスダケ)

拡管式メカ継手
ZLOK
(ゼットロック)

- ・印管継手
- ・管端防食管継手 **PQWK**
- ・日立カップリング継手 オメガシリーズ
- ・日立密閉型膨張タンクシリーズ
- ・ウォーターハンマ防止器

日立金属株式会社

関西支店

〒541-0041

大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)

TEL:06-6203-9704 FAX:06-6202-0730

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

HITACHI